

# 消防 **団** ネット in 川口

平成 31 年 1 月 31 日

第 59 号

KAWAGUCHI SHOUBOUDAN NEWS

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部

消防団長 吉田 幸市

発行所 川口市消防局消防総務課消防団事務局

電話 048-261-8102

## 団長年頭挨拶

川口市消防団長 吉田 幸市

平成 31 年の輝かしい新春を迎え、団員の皆様方に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

団員の皆様には常日頃から、地域の安全、安心を守る為、防災の最前線に立って日夜献身的にご尽力されている事に心から敬意を表し感謝申し上げます。

昨年は、毎年の行事の中に 3 年に一度の荒川左岸水防訓練、6 年ぶりのポンプ操法大会、4 年ぶりの川口・鳩ヶ谷宿御成道まつり、消防特別警戒と活動があり、特に第 6、第 7 支団の支団長をはじめ、選手、団員の皆様には 1 年間大変ご苦労様でした。

さらに、災害も各地で起こり、7 月豪雨では被害が広範囲に及び、9 月の北海道胆振東部地震で電力をはじめとしたライフラインが止まり、甚大なものとなりました。その中で消防団員の活動が取り上げられ、地域の要と感じました。

我々消防団も、実戦に近い訓練をし、多種多様な災害に対するマニュアルを作り、訓練に訓練を重ねることが重要であります。

団員の皆様には、本年も健康管理をしっかりと、市民の安全、安心の為、地域防災の要として、任務を遂行していただきたいと思っております。

本年も、伝統ある川口市消防団の更なる発展と 438 名の団員の皆様の御健康とご多幸を御祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



## 第 24 回全国女性消防団員活性化滋賀大会

第 6 支団第 2 分団 団員 大沼 早苗

この度、平成 30 年 11 月 9 日の「第 24 回滋賀大会研修」に行かせて頂き、たくさんの実り有る全国の女性消防団員の生の声が聞けることが出来、有意義な研修となりました。今回埼玉県からは 11 市の女性消防団員が滋賀大会へ参加されておりました。また、川口市で男性 3 名女性 3 名が参加させて頂き、2 泊 3 日での日程でした。まず、一つに驚いたのは大津市長が女性の方で年齢は 40 歳代と言ったところでしょうか、女性として嬉しく思いました。

今回の「活動報告事例発表」では、女性の活動の地域性も有りますが、まだまだ模索されている団が





多いことも確かです。しかし、大きくは啓発活動の一つとして、災害時の対応として学童指導に当たっているところが目につきました。女性としてのソフト面を最大限に活かせる子供たちに向けての指導は今後の大きな役割を果たしてくれる懸け橋となることなのでしょう。また、団員の入団促進活動の一つとしては、とにかくみんなで集まる回数を増やすたくさんの意見交換をすることにより、みんなで考え、みんなで作る地域ながらの消防団の組織が出来上がる良い例も有りました。近年女性の方々が活躍する場も広がりつつありますが、まだまだ女性と男性の格差が大きい消防団はこれから起こりえる大きな災害に対して、女性の活動は益々重要となってきます。私は川口市消防団はどこにも無い男女との隔たりの無い、まだ数の少ない消火活動に加え災害時に備え何が出来るか何を行うべきなのかを地域での活動を通して学んで行ければと感じました。

### 埼玉県消防団員の県下一斉PR活動

第1支団第1分団 班長 井口 直也



去る11月10日(土)に朝霞市の朝霞の森の屋外イベントコーナーの『消防ブース』で、消防団の増員と活性化を図るための広報活動に参加してきました。川口市消防団からは第1支団・第5支団・第8支団の広報推進委員3名が参加しました。川口市消防団の担当は煙体験コーナーでした。テントの中に無害な煙を充満させて、迷路状になっているテントの中を歩いて脱出するという訓練設備です。大勢の家族連れや子供達が体験してくれて、視界が全くなくなる煙の怖さを実感してくれました。その他には、地震体験車・初期消火体験・防火衣装着体験など盛りだくさんで、多くの方が実体験出来るイベントに興味を示していました。

### 消防団特別点検

写真で紹介します









## 消防団員基礎教育研修

第1支団第1分団 団員 芝崎 充伸

1月12日土曜日、8時40分から16時まで鴻巣の埼玉県消防学校にて消防団員基礎教育研修に参加しました。

当日まだ日の登らない6時40分に芝の川口市消防局に集合し、ワゴン車にて鴻巣に向かいました。川口からの新人参加者は8名です。埼玉県の7つの支部（川口、鴻巣、狭山等）より全体で70名ほどの消防団新人が研修に参加しました。女性が20名ほどで、年代別にも20代から50代までの多種多様な人が集まっていました。各支部によって活動服が微妙に違うという事も当日知りました。研修内容は、座学として防災、緊急自動車運行管理、安全管理等のスライドを交えた講義を受講し、実施訓練として消防ポンプの放水訓練を行いました。

長時間多岐にわたる講義内容でしたが、地域防災の担い手としての消防団員としての自覚を新年早々新たにした有意義な1日となりました。

## 支団車庫紹介 1支団

第1支団第1分団 班長 井口 直也

第1分団は分団車庫は無く、長年に渡って南消防署内に居候しています。自前の車庫は以前から希望はしているのですが、中々予算と用地が見つからないようです。分団車庫の無いメリットとしては火災後のホース洗いを南署の方々がやってくれることと、3階の会議室が利用できる事です。

第2分団車庫は、中央道路と六軒道路の交差点付近にあります。以前は一方通行だったので車両も出しやすかったのですが、現在は車庫の前が対面通行になってしまったので、出場の際には何かと不便になりました。建物は昭和31年に作られた鉄筋コンクリート2階建てで、消防団車庫の中では一番古い建物となります。かつては2階に消防署員が住んでいたこともあります。現在は会議室と備品置き場となっています。将来的には道路拡張で移転しなければならない運命ですが、それまでは大事に使おうと思っています。



第1分団の車両は南署の端っこ



第1支団本部兼第2分団車庫



2階は第1支団の会議室

## 成人のつどい消防団PR

去る1月14日 成人の日にリア前において成人のつどい消防団PRを実施いたしました。

消防団のアンケートに記入された新成人の方には、防災釜で蒸かしたての肉まん・あんまんをプレゼント。600個用意した肉まん・あんまんは2時間あまりですべて無くなりました。

景気づけのために第1支団太鼓隊も出動。天気も良く穏やかな成人の日でした。

リアの成人式会場では、第2支団がステージでポンプ操法の模擬演技を披露。消防団のPRを新成人の前で実施いたしました。



## 震災消防演習

第1支団第1分団 班長 井口 直也

1月20日(日)に震災消防演習を行いました。第1支団は芝川において自然水利による放水訓練を実施いたしました。水深20センチでも吸水できるという特殊なフロートを付けて、芝川の水利を利用しての放水訓練でした。最初はフロートが縦になってしまったりして吸水がうまく出来ず、フロートを水面に安定させるのに苦労しました。



## 新入団員紹介

新入団員の皆様を順次紹介しています

第1支団 第2分団 北澤 直幸 (きたざわ なおゆき)



7月から第一支団の第2分団に入団しました北澤と申します。西川口に住んで7年ほどたちまして東京で理容店を営む友人の勧めで地域の役に立てればと思い入団しました。まだ慣れない部分も多くご迷惑をおかけしますが、早く慣れて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

第2支団 第1分団 若松 祐樹 (わかまつ ゆうき)

この度、第2支団第1分団に入団いたしました若松祐樹と申します。兄に勧められ、入団させていただくことになりました。私は現在19歳で、第2支団の中で最年少です。

知識や経験では他の方々に敵いませんが、若さだけは他の方々に負けません。積極的に活動に参加し、他の方々の知識などを吸収し経験を積んでいきたいと思っております。

まだまだ未熟者ではありますが、少しでも地域に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



第2支団 第1分団 細江 健太 (ほそえ けんた)



平成30年10月1日に第2支団に入団いたしました。21歳の細江健太です。来年から就職で、民間企業に勤めることとなります。勤務地がまだ決まっていないため、配属先によってはご迷惑をおかけするかもしれませんが、諸事情があり、川口市に戻ってくることは間違いありません。ご了承のほど、宜しくお願いいたします。

私は東日本大震災を機に震災復興に興味をもち、福島での復興活動に携わっていく中で、地域のために活動する人達の勇姿や熱い想いを見て、地域貢献の魅力に惹かれていきました。そして、地元川口に貢献したいという想いをもち、入団を決めました。

川口は私を育ててくれた町であり、日本一の町であると感じております。

まだまだ未熟者ですが、自分の誇りの町を守れるような強い男になるために消防団で頑張っていきたいと思っております。

消防団の皆様、これからもよろしくお願い申し上げます。

第3支団第1分団 沼口 光江 (ぬまぐち みつえ)

平成30年10月1日付で第3支団第1分団に入団致しました沼口と申します。私は広報かわぐちを見ている時、女性消防団員募集と書かれていたのを見て、川口市に消防団がありしかも女性の方々が活躍されているとは恥ずかしながら知りませんでした。私も家族や職場等で何かお役に立てればと思い入団致しました。



皆様のご迷惑や足手まといにならない様の一つ一つ努力して参りますので、ご指導の程宜しくお願い致します。

.....

【編集後記】

第7支団第3分団 団員 長瀬 祐一

今回の団ネットはいかがでしたでしょうか？

今回の団ネット59号の内容は、特別点検、消防団県下一斉PR、1支団車庫紹介、女性消防団活性化大会でした。

内容としては、とても充実した団ネットに仕上がったのではないかと思います。

私は団員としても広報委員としても、まだまだ新人です。

ですが、支団や団員の活動、イベント活動等を少しでも分かりやすく、読みやすいように広報の活動に日々努めていきますので、これからも原稿依頼、写真のご協力を宜しくお願い致します。



次号は3月下旬 発刊予定です